

1 学校教育目標

**地域とつながり、豊かな心と言葉で 自ら学ぶ児童の育成**

- 知** 資質・能力の育成  
基礎学力の定着向上 市一斉学力調査結果の活用（改善へ）  
ことば探究科を全言語活動の基礎に 積極的な作品応募
- 徳** 自らを律し他者とのより良い協働  
特別活動・道徳授業の改善充実 学習集団づくり  
地域との協働活動 基本的な生活習慣の確立（挨拶 掃除）
- 体** 心身両面のたくましさ  
基本的な生活習慣の確立（運動 生活時間） 体育的行事の充実  
新体力テスト結果の活用（改善へ） 強化種目の選択

**府南学園目標**

**世界・地域に目を向け、未来に向けて力強く挑戦し続ける児童生徒の育成**

2 経営理念

**みんなが幸せになる学校**

- 行きたい 行かせたい つながりたい 勤めたい と思える学校に -

<めざす学校像>

家庭・地域から信頼される学校  
成果を上げる学校

<めざす子ども像>

自ら学ぶ子  
心のあたかみ子  
元気な子

<めざす教師像>

絶えず成長しようとする教職員  
児童を認め励ましほめる教職員

<めざす授業>

子供たちが学びの主体である  
個に応じた深い学びのある授業

3 研究主題

(1) 学園研究主題

小中9年間を見通した資質・能力の育成  
～ 主体的な学びの充実を通して ～

(2) 本校研究主題

自ら学びに向かう児童の育成  
～ 振り返りによる学びの自覚化を通して ～

4 今年度の重点目標及び設定理由

| 重点目標         | 設定理由  |
|--------------|---|
| 基礎学力の定着向上    | ・これまで One Up Time やラーニングサポート事業との連携、授業改善等を通して児童の基礎学力の定着に取り組み、徐々に成果が上がり始めている段階である。今年度も継続して基礎学力の定着向上に努める。                                    |
| 自ら学びに向かう力の育成 | ・本校の児童は、教師の発問や指示によってフレームを活用することができるが、児童が自ら意識して活用することに課題がある。したがって、複数回の振り返りを行い、その比較分析等を行うことで、学びの言語化を行い学習への手応えを自覚することで、児童の自ら学びに向かう力の育成に取り組む。 |
| 自己肯定感の向上     | ・自己肯定感の向上に向け、家庭や学校、地域、また多様な方面との協働を行い、その中で達成感や自己肯定感が高まるような取り組みを仕組む。具体的には、地域との合同行事や作品応募等である。  |
| 基礎体力の向上      | ・起床・就寝時刻や外遊びの習慣化等の基本的な生活習慣を整えることで、心身両面のたくましさを育成する。  |

5 評価基準

|                        |    |
|------------------------|----|
| 目標値を達成した（98%以上）        | =4 |
| 目標値をほぼ達成した（80～97%）     | =3 |
| 目標値を少し達成できなかった（60～79%） | =2 |
| 目標値を達成できなかった（60%未満）    | =1 |